



# 香川大学工学部ニュース

No. 9, 2003.10.15

## 新生香川大学の工学部として

香川大学工学部長／大学院工学研究科長 石川 浩

去る10月1日、本学は香川医科大学と統合し、教育・法・経済・医・工・農の6学部を擁した新しい香川大学に生まれ変わりました。来春には国立大学の法人化が予定され、未曾有の大改革・大競争時代を迎えています。

平成9年10月に創設された工学部は現在、満6歳。工学系では東大に次いで全国第2位となる3つの寄附講座「基礎地盤動力学（穴吹工務店）講座」「メンテナンス工学（四国機器）講座」「ベンチャービジネス創生工学（香川証券）講座」を含めて、国内外の大学、試験研究機関、民間企業など多様な各層から一騎当千の学者・研究者・技術者を教授陣に迎え入れ、教育・研究・管理運営・地域貢献・国際貢献・国際通用性などのあらゆる観点から個性輝く魅力あふれた学部づくりに全力を尽くしています。来春には大学院博士課程を開設すべく、設置計画書を提出し目下教員審査をクリアしたところです。



「文理融合」の創設理念に則した教育・研究活動を推進するとともに、地域産学官連携の中心的役割を担って、共同研究・受託研究・プロジェクト研究等の積極的な推進、科学技術フォーラムや国際会議・シンポジウム・ワークショップ等の開催、外国の大学との国際交流協定の締結、国際インターンシップの実施など、地域に、日本に、そして世界に開かれた新生香川大学の工学部・大学院工学研究科として、これまで以上に精力的に各種の取り組みを続けて参ります。今後とも、何卒よろしくご指導・ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

## 工学部オープンキャンパス開催

8月10日（日）、工学部で第3回オープンキャンパスを開催しました。これは地域交流を深めるイベントの1つとして毎年実施しており、工学系へ進学を考えている高校生だけでなく、企業や一般の皆様にも工学部の魅力を実感してもらうことを目的としています。本年度は、1. ミニ講演会（8件）、2. 入試相談コーナー、3. ものづくり体験教室（ものづくり工房）、4. 学生ロボット研究所の活動紹介と実演、5. バーチャルスノーボード等のアトラクション（5件）、6. 交通安全公開セミナー、7. 研究室紹介（82件）などを用意しました。当日は県内外から約410名の参加者があり、全教職員と共に研究室に配属の学部・大学院学生が一丸となって対応に当たりました。参加者は、案内資料を片手に興味のある会場を自由に訪問し、思い思いの1日を過ごしていました。（広報室）



超伝導のアトラクション

## 特集：インターンシップで有意義な学生生活を

工学部では、3年次の夏休みに企業・機関での実務を経験するインターンシップを積極的に支援しています。対応する科目は専門科目の「工学実務」です。毎年、100名前後の学生（対象年次学生約1/3）が受講しています。科目の単位認定に際しては、企業・機関での実務日数が10日間以上であること以外に、事前研修および個別指導を行うとともに、インターンシップ終了後には、インターンシップ報告書の提出、インターンシップ報告会での報告を義務付けています。これらの指導により、学生、受入側双方にとってインターンシップがスムーズに行われると共に、学生がインターンシップを通して学んだ事柄を明確にす

ることができるものと思います。本年度は、香川経済同友会とのインターンシップに関する協定が各学部から香川大学に一本化された影響で、企業との調整作業が遅れ、学部生80名、大学院学生10名となりましたが、多くの学生がインターンシップを非常に有意義に送ることができました。インターンシップでの経験が専門課程の勉強に、また、翌年の就職ならびに進学活動に結びつくものと思います。

企業・機関の方々には貴重な時間を割いての学生の指導、誠に有り難いことと思います。この場を借りて厚く御礼申し上げます。（キャリア形成部会）

### 実習（ブレーカの開発業務サポート）を終えて

材料創造工学科3年 福元達也

寺崎電気産業株式会社 8月18日～8月29日

このインターンシップに行き、ブレーカについて、講師の方々のわかりやすい講義や質疑応答、試験によりたくさんの知識や貴重な経験を身につけることができました。ブレーカの開発というのは電気関係だけでなく、ものづくりであるので、材料創造工学科の分野と関係も深く、大変勉強になりました。その部分では企業でどのように自分の学科の分野が活かされているのかということを目の前で体験でき、「百聞は一見にしかず」ということわざを、身をもって理解することができました。

実習の内容は製品1つができあがるまでの過程の中でも重要な製品の試作品の試験、その試験についての考察等を行いました。試験は簡単なものから難しく時間のかかるものなどがありました。その中でも最も重要で大変貴重な短絡遮断試験に立ち会えて非常によい体験ができました。特に試験の考察が自分でいくつかの試験をした分だけ一層やりがいがあり、面白かったです。そして試験というものは大学で行っている実験と近いものを感じることができ、大学での実験の重要



実習先でのインターンシップ参加学生の報告会  
(中央が福元君、他は他大学学生)

性を再確認できました。

そしてこれらの貴重な経験をしたと同時に技術開発の厳しさも知り、また会社の雰囲気を知ることでもでき、来年控えている就職活動のよい情報を得ることもできました。私はこのインターンシップに行き、本当に満足することができました。また、ご多忙の中、私の指導のために親切にしてくださいました機器開発部及び人事部の方々に心から感謝しています。

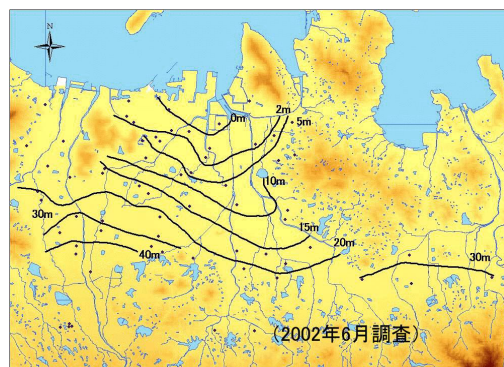
## 研究室紹介：安全システム建設工学科 河原研究室

都市化の進展に伴って生活基盤である環境は必然的に変化します。当研究室では、自然および人工の水循環系を研究対象とし、地域における水量・水質・生態系の保全や修復に必要なデータの集積、評価・予測システムの開発などを行っています。流域全体での水や物質の動きを捉えること、豪雨時や晴天時に限ることなく年間を通しての解析を行うことが重要かつ困難な点です。

地元の水問題への対応として、府中湖や御殿貯水池、弁天川の水質浄化対策の検討、高松地域の雨水浸透能力図の作成、高松平野や丸亀平野での水循環系の調査・解析などを行っています。一方、基礎研究として、河川・貯水池での水の流動や水質を理解するための数値解析手法の開発や水理模型実験、地下水の水ミチ探査や環境同位体の利用を進めています。現象を多面的に捉えること、鋭利な解析手法を身につけることを学生には心がけてもらっています。



城池での水質調査



高松平野での不圧地下水の水位（標高）

## 大学発ベンチャー企業「(株) VR スポーツ」設立

8月28日（木）大学発ベンチャー企業「(株) VR スポーツ」設立の記者会見が工学部で行われました。本ベンチャー企業は本年4月に設置した寄附講座「ベンチャービジネス創生工学（香川証券）講座」の塚本一義客員教授が中心となって設立されました。記者会見には、石川工学部長、講座の寄附者である香川証券株式会社中條代表取締役社長、平田経済同友会代表幹事等が出席しました。(株) VR スポーツの説明の後、大学発ベンチャー企業について活発な質疑応答が行われました。(株) VR スポーツは資本金 2,000 万円で、高松市に本社を置いています。日本の大学や産業の風土にあったベンチャー企業の創出と新しい産業の創生に関する体系的な研究を行うとともに、その方法論を実証するためにベンチャー起業を自ら実践し、香川大学にベンチャーマインドを醸成することを目的にしています。(広報室)



取材陣と報道カメラ



記者会見の様子

## EU 大使との懇談会

平成 15 年 10 月 3 日（金）、駐日欧州委員会代表部ベルンハルド・ツェプター大使が工学部を訪れました。EU についてのショート・スピーチでは、EU が形成されるまでの歴史的経緯等について講演されました。また、工学部での講演ということで、科学技術の分野での EU の取組みについても説明され、国を越えて人を集め広範囲からの得意分野を集積することで、大規模な最先端のプロジェクトを遂行できるなどのメリットを挙げられました。

講演の後、学生からの質問にも応じてくれました。環境問題についての質問には、大使ご自身がドイツの田舎の出身で美しい自然に囲まれて育ったそうで、環境保全を重要に思っていること、



ツェプターEU 大使と石川工学部長

また、グローバル化が進む中、一国だけでは解決できない問題がたくさんあり、特に環境問題はその種の問題だという認識を持ち、共通した基準を作ろうとしていることなどを答えられました。（広報室）

## 新工学部 HP の公開へ向けて

広報室では、本年度、工学部ホームページのリニューアルを実施しております。まず、デザインから見直しを行ない、工学部ホームページのトップページデザインをコンペティション方式で募集しました。工学部の学生 9 組、経済学部の学生 1 組、合わせて 10 組の応募があり、そのどれもが素晴らしい作品でした。その結果、審査は非常に難航しましたが、独自／新規／先進性、正確性、

モラル性、双方向性、メンテナンス性、拡張性、デザイン、操作／機能性、印象・インパクト性などを考慮の上、藤田博之君（信頼性情報工学科 4 年生）の作品を優秀作品とし、また、甲乙をつけ難かったため 4 組の作品を佳作としました。現在、優秀な作品をベースに工学部ホームページ全体のリニューアルを行っております。新しい工学部ホームページにご期待下さい。（広報室）

## トピックス

### イベント

11 月 18 日（火） 工学部科学技術フォーラムの開催（香川県民ホール）

### 学術賞受賞等

5 月 29 日（木）土井健司教授、第 8 回都市計画および都市管理のためのコンピューター利用に関する国際会議にて最優秀論文賞

6 月 19 日（木）江原隆一郎教授、日本溶射協会論文賞

8 月 8 日（金）石井知彦助教授、DV-X a 研究協会奨励賞

編集：工学部広報室  
電話：087-864-2000、FAX: 087-864-2032  
e-mail: info@eng.kagawa-u.ac.jp  
<http://www.eng.kagawa-u.ac.jp/news/>